

平成29年度 地方創生拠点整備交付金に関する事業と評価

対象事業の名称	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		平成29年度の取組み内容
	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	
静峰ふるさと公園魅力向上計画	指標①	静峰ふるさと公園の「施設使用料等」(事業前からの増加)	100	千円	H30.3	1,627	・静峰ふるさと公園の施設改修工事及び実施設計 1 多世代交流エリア 見守り施設設置工事 運動・健康施設等 2 ノルディックウォーキングコース施設 園路整備工事 3 展望施設 展望施設設置工事
	指標②	静峰ふるさと公園の「飲食・物販の出店数」(事業前からの増加)	5	店	H30.3	-21	
交付決定額: 93,500千円 実績額: 93,500千円	指標③	静峰ふるさと公園の「来場者数」(事業前からの増加)	2,000	人	H30.3	5,000	
事業概要	那珂ICから常陸大宮市・大子町など県北の観光地に向かうルート上にある特性を生かし、静峰ふるさと公園を四季を通じて多世代が集える拠点として整備し、新たな機能を付加することで、常陸大宮市と大子町の観光入込客数である170万人の一部を新たなターゲットとして取り込み、1万7千人程度の交流人口の増加を目指す。来場者増加により、イベント開催時の使用料や飲食店の出張販売による使用料が見込めるため、最終的には年間135万円程度の新たな収入増を図り、新たに整備した施設の年間保守点検料など維持管理費を賄う。定期的なイベントの開催や県外の観光客に向けて観光PRを兼ねた静峰ふるさと公園を含む観光ツアーを実施する他、いばらき県央地域観光協議会(水戸市・笠間市・ひたちなか市・小美玉市・茨城町・大洗町・城里町・東海村・那珂市)にて、マーケティングや情報発信を行い、周遊型観光ツアーの立ち寄り地等として利活用を図る。						

※事業効果・・・ A: 「非常に効果的であった」(目標値以上)、 B: 「相当程度効果があった」(目標値の7割程度)、 C: 「効果があった」(目標値以下(改善あり)) D: 「効果がなかった」(目標値以下(改善なし・悪化))

有識者会議委員の評価		実績値を踏まえた平成30年度以降事業の今後について	
事業の評価	有識者からの意見	今後の方針	今後の方針
総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> ・ノルディックウォーキングコースなど特徴的な施設が整備され、目標を達成するために必要な整備としては十分である。 ・今後は有効活用をするために、ホームページ、ガイドブック等の各種媒体でのPRや、ソフト面での取り組みを強化していくことが重要となる。 ・来場意識を高めるために、公園を含む観光ツアーを実施すると共に、周辺施設の歴史的背景を同時にPRした方が良いのでは。遠方の人を取り込めるよう、他の市内名所との調和を考えながら、公園単独のイメージアップではなく、市内名所の一つとなるようにしてほしい。 ・親子連れ、地域住民など利用者の要望を取り入れた活用と整備をしてほしい。 	更に発展させる	平成29年度の①③指標が増えた要因は、桜の開花が遅れたこと、テレビ放映による反響により、まつり期間中の来園者が途切れなかったことによる。施設改修工事の完了が全て年度末だったため、整備の効果が表れるのは平成30年度以降と見込まれる。
			1 ノルディックウォーク施設 ノルディックウォーク講習会の実施 ノルディックウォーキング用ストックの整備 2 水上ステージ改修 3 桜の植栽